

フォーラムの目的

高齢化の影響から、75歳以上の運転免許保有者は増加し、多くの高齢者にとって運転の継続が適切であるかは切実な問題となっている。また、高次脳機能障害により注意力、判断力低下を来すこともあり、自動車運転再開が可能かどうかについても問題となっている。

そのような背景を踏まえ、今回は、高齢者、高次脳機能障害者がより安全に自動車を運転できるように支援していく為に、医師、作業療法士、教習指導員の役割、各業種間でのどのような連携、支援体制が今後必要となるかを考えることを目的とした。

実施概要

開催日時：令和4年2月20日（日）

開催方法：オンライン開催（ZOOM Cloud Meetings）

内容：第1部 特別講演

「高齢者・高次脳機能障害者の自動車運転支援について」

講師 船山 道隆氏（足利赤十字病院 医師）

座長 土屋 綾子氏（栃木県立リハビリテーションセンター 作業療法士）

第2部 シンポジウム

「事例を通じた多職種での自動車運転支援について」

シンポジスト 船山 道隆氏（足利赤十字病院 医師）

藤田 佳男氏（千葉県立保健医療大学 作業療法士）

岩城 直幸氏（新潟県水原自動車学校 教習指導員）

コーディネーター 松川 勇氏（足利赤十字病院 作業療法士）

参加者：92名

結果

第1部では、特別講演として船山道隆氏より、高齢者、高次脳機能障害者が自動車運転をする上で必要な能力、法制度など、幅広い内容でご講演を頂いた。

第2部では、シンポジスト3名のそれぞれ異なる立場、職種からの視点で、実際の事例を通して、多職種での支援の仕方を深めることができた。

また、コーディネータの松川先生を交え、栃木県内の実情を踏まえたディスカッションを行うことができた。

第22回 とちぎりハビリテーションフォーラム
 高齢者・高次脳機能障害者の自動車運転支援
 ～運転に必要な能力と多職種との関わり、その支援～

「おじいちゃん 運転出来るかな？」
 「運転家になってもいいけど 運転は安全にできるのかな？」

不安になることはありませんか？

開催日：令和4年2月20日（日）
 時間：12:50～15:30（12:30 受付開始）
 開催方法：オンライン開催（zoom cloud meetings）
 参加費：無料

対 象：本県在住の20歳以上、運転経験者、作業療法士、理学療法士、医師、看護師、福祉士、介護福祉士の方等々にても参加可能（定員 200名）

申込：下記URLまたはQRコードからお申込み先方の上申先ください
 ＊申込受付 開始日：12月15日（水）～19日（日）
 ＊申込フォーム：https://forms.gle/vxK7Dn8kGulqP9

申込先：栃木県立リハビリテーションセンター（栃木県）
 電話：028-568-4880（受付専用） E-mail: rehaforum2021@gmail.com

プログラム

13:00～14:30
 特別講演 高齢者・高次脳機能障害者の自動車運転支援について
 講師 船山道隆氏（足利赤十字病院 医師）
 座長 土屋綾子氏（栃木県立リハビリテーションセンター 作業療法士）

14:50～
 シンポジウム 「事例を通じた多職種での自動車運転支援について」
 シンポジスト 船山道隆氏（足利赤十字病院 医師）
 藤田佳男氏（千葉県立保健医療大学 作業療法士）
 岩城直幸氏（新潟県水原自動車学校 教習指導員）
 コーディネーター 松川勇氏（足利赤十字病院 作業療法士）

詳しくは 栃木県理学療法士会ホームページ

主催：栃木県理学療法士会 協 賛：栃木県、宇都宮市、栃木県理学療法士会、栃木県看護士会、栃木県福祉士会、栃木県介護福祉士会

今後の展開

栃木県内の自動車運転支援は、実車教習を行えている施設も少なく、他県と比較しても十分なものとは言えない現状である。今回の研修を通して、栃木県のみではなく他県ではどのように支援を行っているのか、今後栃木県ではどのように多職種での連携を深めればよいのかを学ぶことができたのではないかと。今回の研修を生かし、今後、栃木県での自動車運転支援を発展できるよう努めていく。